



「街の住みこちランキング2024」栃木県第2位・北関東第7位を獲得

大東建託(株)賃貸未来研究所による「いい部屋ネット街の住みこちランキング2024栃木県版・北関東版」が5月27日に発表されました。下野市は、栃木県版で第2位、北関東版で第7位の評価をいただきました。また、全8つの項目のうち、「交通利便性」「行政サービス」「親しみやすさ」「防災」の4項目で県内第1位を獲得しました。

特に「行政サービス」や「親しみやすさ」という項目で評価をいただけたことを嬉しく思います。今後も職員一同、より暮らしやすく、魅力あるまちづくりに努めます。



市ホームページ

いい部屋ネット
街の住みこち
ランキング2024

＜栃木県版＞ 25自治体中
第2位（2年連続）

＜北関東版＞ 104自治体中
第7位（3年連続）

下野市協力雇用主会設立総会を開催

協力雇用主とは、犯罪や非行歴により仕事に就くことが容易でない方の事情を理解したうえで雇用し、立ち直りを助ける事業主の方々です。この度、下野保護区保護司会下野市分区の尽力のもと、協力雇用主の皆さまの情報交換や研修の機会の確保を目指し、6月6日に下野市協力雇用主会を設立しました。



下野市分区長 藤沼薫氏

人権の花運動

花を通して思いやりの心を

「人権の花」運動は、児童が協力しながら花を育てることで、やさしい思いやりの心や人権思想を育むことを目的としています。5月から6月にかけて、人権擁護委員が市内の小学校4校を訪問し、児童へマリーゴールドやサルビア、ベゴニアなどの苗を手渡しました。

人権擁護委員は「協力してお花を育てながら、命の大切さや思いやりの心を育ててください。そして、誰にも言えない悩みや困ったことがあったら、手紙で相談できるSOSミニレターを使ったり、子どもの人権110番(☎0120(007)110)に電話したりしてください。必ず相談に乗ります」と児童に話しました。

